

6 3 6 1 - 6 5 5
平成 1 8 年 6 月 2 3 日

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成 1 8 年度病害虫発生予察注意報第 3 号について

平成 1 8 年度病害虫発生予察注意報第 3 号を発表したので送付します。

平成 1 8 年度病害虫発生予察注意報第 3 号

平成 1 8 年 6 月 2 3 日
宮 崎 県

病害虫名 果樹カメムシ類
作物名 果樹全般（ナシ、カキ、カンキツ等）

1. 発生地域 : 県下全域
2. 発生時期 : -
3. 発生量 : 多

4. 注意報の根拠

- (1) 県内 3 箇所に設置しているフェロモントラップによると、チャバネアオカメムシ誘殺数はすべての調査地点で平年に比べて多く推移しているが、特に 6 月 1 半旬以降急激な増加が見られている。
一方、ツヤアオカメムシの誘殺数は、延岡市で平年に比べて多く推移しており、特に 5 月 4 半旬以降急激な増加が見られている。(図 1)
- (2) 4 月 1 半旬～6 月 3 半旬の総誘殺数を見ると、いずれの地点においても過去 8 年のうち 1～2 番目に多い発生である。(表 1)
- (3) 果樹カメムシ類の餌となるヒノキ毬果の昨年の着果数が多かったことから、本年の越冬成虫量は多いと推測される。
- (4) 防除員報告によると、一部のカンキツ園において開花期に多数飛来した事例が確認されている。

5. 防除上の注意

- (1) 飛来時期や飛来量は地域や園地によって異なるので、園内外の見回りを徹底し、飛来が見られたら、早期に防除を実施する。
- (2) 成熟の早い品種を集中して加害する傾向があるので注意する。
- (3) 薬剤等その他の詳細については関係機関に照会すること。
なお、ポジティブリスト制度の施行に伴い、農薬の使用については今まで以上に厳重な注意を払うことが必要である。周辺作物の栽培状況等に留意し、地域全体で農薬のドリフト防止に努める。

連絡先

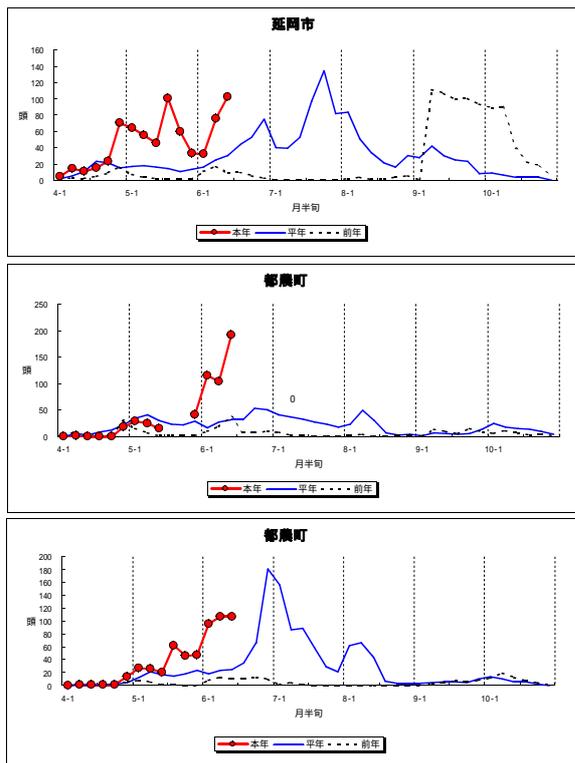
宮崎県病害虫防除・肥料検査センター（邊見）

TEL : 0 9 8 5 - 7 3 - 6 6 7 0

Fax : 0 9 8 5 - 7 3 - 7 4 9 9

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

チャバネアオカメムシ



ツヤアオカメムシ

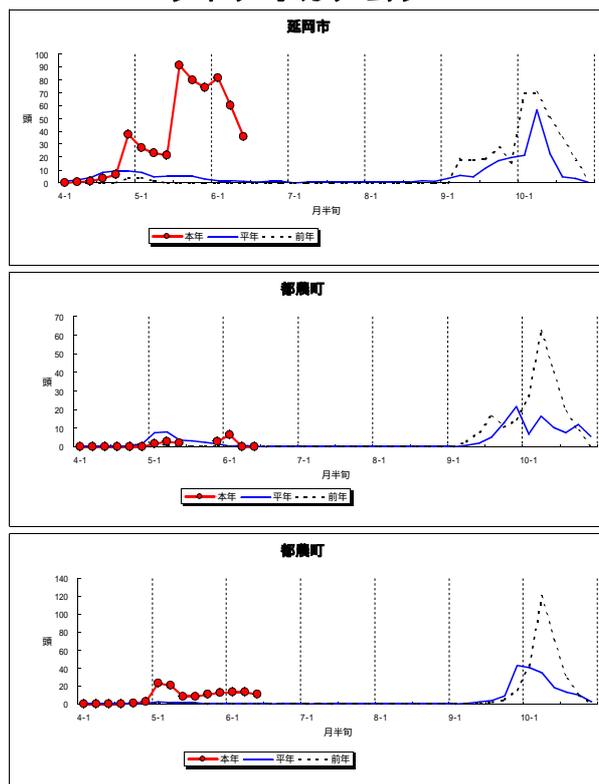


図1 フェロモントラップ旬別誘殺数の推移

平年：延岡、都農 は平成11～17年の平均値 都農 は12～17年の平均値

表1 フェロモントラップによるチャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシの誘殺数(4月1半旬～6月3半旬)

	延岡市		都農町	
	チャバネ	ツヤアオ	チャバネ	ツヤアオ
平成18年	704	544	537	16
平均(H11～17)	219	65	268	24
平成11年	125	4	153	13
12年	190	59	1039	137
13年	40	2	178	1
14年	441	45	94	0
15年	367	150	53	0
16年	283	187	218	13
17年	88	9	139	4